株式会社 土屋 土屋ケアカレッジ新居浜教室 重度訪問介護従業者養成研修 統合課程(通信) 学則

1 開講目的

地域で生活される重度の障害をお持ちの方々に対する、医療的ケアも含めた重度 訪問介護サービスの提供

- 2 事業者の名称及び所在地 土屋ケアカレッジ 新居浜教室 愛媛県新居浜市松木町 5-1
- 3 研修課程及び講義の形式 重度訪問介護従業者養成研修(統合課程)通信形式
- 4 研修の名称 土屋ケアカレッジ重度訪問介護従業者養成研修統合課程(通信)
- 5 実施場所
 - ・講義 愛媛県新居浜市松木町 5-1土屋ケアカレッジ 新居浜教室
 - ・演習 愛媛県新居浜市松木町 5-1 土屋ケアカレッジ 新居浜教室
 - ・実習 愛媛県新居浜市松木町 5-1 土屋ケアカレッジ 新居浜教室

愛媛県松山市石手 5 丁目 7 番 15 号 SAKURA HOUSE 403 号 ホームケア土屋 松山

香川県高松市林町 2519 番地 6 358 サコ Ⅱ 205 ホームケア土屋 高松

徳島県徳島市末広1丁目5番地11 Pino **I** 605 号室 ホームケア土屋 徳島

高知県高知市南御座 1-33 ホームケア土屋 高知

- 6 研修期間及び研修日程、募集時期及び開講時期 研修の日程は別紙「重度訪問介護従業者養成研修事業実施計画書」の通りとする。
- 7 研修カリキュラム 研修を修了するために履修しなければならないカリキュラムは、別紙「研修カリキュ ラム表」のとおりとする。
- 8 使用テキスト 喀痰吸引等研修テキスト 全国自立生活センター協議会
- 9 講師氏名 研修を担当する講師は別紙「担当講師一覧」のとおりとする。 ※担当講師のうち1名が授業を担当する。

- 10 研修修了の認定方法
 - (1) 出欠の確認方法 研修時に点呼する
 - (2) 成績の評定方法 研修終了時に修了試験を実施する
 - (3) 修了の認定方法 前科目の修了をもって、修了試験の90%以上得点したものを修了 者として認定する
 - (4) 2日目までの受講態度及び演習、実習の技術によって、講師が重度訪問介護従業者として適切と認める場合にのみ、現場同行の実習を受けることができる。

現場同行実習を受講できない者については失格とする。

(不適切と判断された場合の取扱い)

失格者本人に不適切な旨を理由と共に伝え、現場同行を受けられない旨を理解いた だいた上、失格とする。

11 研修欠席者の取扱い

10 分以上の遅刻または早退をした場合

- 12 受講の取消し
 - (1) 学習意欲が著しく欠け、修了の見込みがないと認められる者。
 - (2) 研修の秩序を乱し、その他受講者としての本分に反した者。
 - (3) 重度訪問介護従業者として適性に欠く者
 - (4) 反社会的勢力またはその関係者と認められる者。
- 13 修了証明書の交付

10にて修了を認められたものは、当法人において修了証明書および修了証明書 (携帯用)を交付する。

修了証明書の紛失などがあった場合は、修了者の申し出により再発行を行う。 再発行にかかる手数料については、2,000 円+発送費用を修了者の負担とする。

14 受講資格及び受講定員

四国全域または四国近郊在住、在勤で通学可能なもの 受講定員 10名

- 15 受講手続
 - (1) 募集時期 随時
 - (2) 受講料納入方法 受講日までに振込もしくはクレジットカード決済、コード決済のいずれかにて納入とする。
 - (3) 受講料返還方法 指定口座に振込
 - (4) 本人確認 運転免許証やパスポートなど身分証の提示
- 16 受講料, 実習費等

受講料 30,000円(税込み、実習費、テキスト代含む)

17 補講の方法及び費用

当該研修の別日程を受講する場合は無料とする。

18 科目の免除

科目の免除は行わない。

19 研修事業担当部署(問い合わせ先)

十屋ケアカレッジ運営事務局 050-3138-2024

(附則) この学則は令和7年4月1日から施行する。

(附則) この学則は令和7年4月21日から施行する。

土屋ケアカレッジ 重度訪問介護従業者養成研修 重度訪問介護従業者養成研修 統合課程 (通信) 4月 2 日 令和7年 1回 令和7年 (水) 4月 (木) 第 $2 \square$ 令和7年 4月 9日(水)~ 令和7年 4月10日 (木) 令和7年 4月16日(水)~ 令和7年 4月17日 第 3回 (木) 第 $4 \square$ 令和7年 4月23日 (水) ~ 令和7年 4月24日 (木) 令和7年 令和7年 4月30日 (水) ~ 5月 第 5 回 1 日 (木) 第 6 回 令和7年 5月 7日 (水) ~ 令和7年 5月 8 目 (木) (水) ~ 5月15日 第 7回 令和7年 5月14日 令和7年 (木) 第 8回 令和7年 5月21日 (水) ~ 令和7年 5月22日 (木) 第 9回 令和7年 5月28日(水)~ 令和7年 5月29日 (木) 第 10 回 令和7年 6月 4日(水)~ 令和7年 6月 5日 (木) 第 11 回 令和7年 6月11日(水)~ 令和7年 6月12日 (木) 令和7年 6月18日 (水) ~ 令和7年 6月19日 第 12 回 第 13 回 令和7年 6月25日 (水) ~ 令和7年 6月26日 (木) 令和7年 7月 2 日 (水) ~ 令和7年 7月 第 14 回 3 日 (木) 令和7年 7月 9日(水)~ 令和7年 7月10日 第 15 回 (木) 令和7年 7月16日(水)~ 令和7年 7月17日(木) 第 16 回 令和7年 7月23日 (水) ~ 令和7年 7月24日 第 17 回 (木) 第 18 回 令和7年 7月30日 (水) ~ 令和7年 7月31日 (木) 第 19 回 令和7年 8月 6日 (水) ~ 令和7年 8月 7 日 第 20 回 令和7年 8月20日 (水) ~ 令和7年 8月21日 (木) (木) 第 21 回 令和7年 8月27日 (水) ~ 令和7年 8月28日 第 22 回 令和7年 9月 3日(水)~ 令和7年 9月 4日 (木) 実施予定期間 令和7年 第 23 回 令和7年 9月10日 (水) ~ 9月11日 (木) 第24回 令和7年 9月17日(水)~ 令和7年 9月18日(木) 第 25 回 令和7年 9月24日(水)~ 令和7年 9月25日(木) 第 26 回 令和7年10月1日 (水) ~ 令和7年10月2日 第 27 回 令和7年10月8日 (水) ~ 令和7年10月 9日 (木) 第 28 回 令和7年10月15日 (水) ~ 令和7年10月16日(木) 第 29 回 令和7年10月22日(水)~ 令和7年10月23日(木) 第30回 令和7年10月29日(水)~ 令和7年10月30日(木) 第 31 回 令和7年11月 5日 (水) ~ 令和7年11月6日(木) 第 32 回 令和7年11月12日(水)~ 令和7年11月13日(木) 第 33 回 令和7年11月19日(水)~ 令和7年11月20日(木) 令和7年11月26日(水)~ 令和7年11月27日(木) 第 34 回 令和7年12月3日(水)~ 令和7年12月 4日(木) 第 35 回 第 36 回 令和7年12月10日 (水) ~ 令和7年12月11日(木) 第37回 令和7年12月17日(水)~ 令和7年12月18日(木) 令和7年12月24日(水)~ 第 38 回 令和7年12月25日(木) 第 39 回 令和8年 1月 7日(水)~ 令和8年 1月 8日 (木) 第 40 回 令和8年 1月14日 (水) ~ 令和8年 1月15日 令和8年 1月21日 令和8年 1月22日 第 41 回 (水)~ (木) 令和8年 1月28日(水)~ 令和8年 第 42 回 1月29日(木) 第 43 回 令和8年2月4日(水)~ 令和8年 2月 5日(木) 第 44 回 令和8年 2月11日(水)~ 令和8年 2月12日(木) 第 45 回 令和8年2月18日(水)~ 令和8年 2月19日(木)

	第 47 回 令和 8 年 第 48 回 令和 8 年 第 49 回 令和 8 年 第 50 回 令和 8 年 ※第 1 回募集開始	F 2月25日(水) ~ 令和8年 2月26日(木) F 3月4日(水) ~ 令和8年 3月5日(木) F 3月11日(水) ~ 令和8年 3月12日(木) F 3月18日(水) ~ 令和8年 3月19日(木) F 3月25日(水) ~ 令和8年 3月26日(木) は令和7年1月1日、以降は随時募集 は各回の1日目受講日から2ヶ月以内の日とする。
募集予定人数	500 人	
事務担当	担当者名	金居 祥太郎
	電話番号	090-9108-0398

カリキュラム表【重度訪問介護従業者養成研修統合課程】

新居浜教室標準区分表 (2025年4月2日~2026年3月26日分)

事業者名:株式会社土屋 (土屋ケアカレッジ新居浜教室)

区	47	_				
分	科	目	計	通学講習	通信講習	
	講	義	11	3	8	
	重度の肢体不自由者の ¹ る講義	地域生活等に関す	2	0	2	
	基礎的な介護技術に関す	する講義	1	0	1	
	コミュニケーションの 義	技術に関する講	2	0	2	
	喀痰吸引を必要とする」 と支援に関する講義・ 危険防止に関する講義		1.5	0	1.5	
	経管栄養を必要とする」 と支援に関する講義・ 危険防止に関する講義		1.5	0	1.5	
	喀痰吸引を必要とする! と支援に関する講義・! 危険防止に関する講義		1.5	1.5	0	
	経管栄養を必要とする」 と支援に関する講義・ 危険防止に関する講義		1.5	1.5	0	
	 演	羽首	1	1	0	
	喀痰吸引等に関する演習	p i	1	1	0	
	 実	羽首	8.5	8.5	0	
	基礎的な介護と重度の肢体不自由者との コミュニケーションの技術に関する実習		3	3	0	
	外出時の介護技術に関す	する実習	2	2	0	
	重度の肢体不自由者の 現場での実習	介護サービス提供	3.5	3.5	0	
	合	計	20.5	12.5	8	

※通信学習については、オンライン配信形式によるものです。

講師一覧表

No. 1

		語	衣	<u>No. 1</u>
講 師 氏 名	現場	職、保有資格、実務経験	担当科目番号	担当科目名
	現職			・重度の肢体不自由者の地域生活 等に関する講義
宮本 武尊	資格	介護福祉士		・基礎的な介護技術に関する講義 ・コミュニケーションの技術に関
(専任・兼任)	経験	6年		する講義
	現職			
伊藤 辰也	資格	介護福祉士		
(専任・兼任)	経験	11年		
	現職			
角南 成禅	資格	介護福祉士		
(専任・兼任)	経験	18年		
倉上 誠	現職			・重度の肢体不自由者の地域生活 等に関する講義
(専伊・兼任)	資格	介護福祉士		・基礎的な介護技術に関する講義 ・コミュニケーションの技術に関
	経験	12年		する講義
	現職			・基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関
魯山 香織	資格	介護福祉士		する実習・外出時の介護技術に関する実習
(専任)· 兼任)	経験	8年		- フト山崎Vノ川 磯収州に関 9 る夫首
中原 しのぶ	現職			
(専任)・兼任)	資格	介護福祉士		
	経験	15年		

		再 即 一 鬼	衣	<u>No. Z</u>
講師氏名	現耳	職、保有資格、実務経験	担当科目番号	担当科目名
加納 康行	現職			・重度の肢体不自由者の地域生活 等に関する講義
(専任)・兼任)	資格	介護福祉士		・基礎的な介護技術に関する講義 ・コミュニケーションの技術に関
	経験	10年		する講義
細井 俊一	現職			・基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関
(専任)・兼任)	資格	介護福祉士		する実習・外出時の介護技術に関する実習
	経験	14年		- ファ山崎の川 暖1文州に関する夫首
	現職			・喀痰吸引を必要とする重度障害 者の障害と支援に関する講義・緊
久家 桂子 (専伊・兼任)	資格	看護師		急時の対応及び危険防止に関する 講義
	経験	6年		・経管栄養を必要とする重度障害 者の障害と支援に関する講義・緊
	現職			急時の対応及び危険防止に関する 講義
齊藤みさを (専伊・兼任)	資格	看護師		・喀痰吸引等に関する演習
	経験	17年		
	現職			
長谷川信子 (専任・兼任)	資格	看護師		
_	経験	26 年		
	現職			
香山里美 (専任・兼任)	資格	看護師		
	経験	24 年		